



令和 4 年度後期援助会員養成講座が終了しました！

会員証授与の様子

1 月からスタートした後期援助会員養成講座が終了し、13 名の援助会員・両方会員が誕生しました。閉講式では新しく援助会員になられた若松久子さんが「学んだことを活かしながらこれから援助活動をしていきたい」と抱負を述べられました。今後のご活躍に期待いたします！！



令和 5 年度より病児・病後児援助活動「病児施設への送迎」を再開します！



平成 31 年度にスタートした「病児・病後児援助活動」は、コロナ禍において活動休止中でしたが、令和 5 年度より病児施設への送迎を再開します。利用するにはまず病児利用会員登録が必要になります。手順はこちら・・・

- ① 病児利用会員登録（利用会員は再度病児利用会員としての登録が必要）、ファミサポにて病児援助会員を調整
- ② 病児利用会員と対象の子どもさんは、送迎可能な病児援助会員とファミサポセンターにて顔合わせ
- ③ 病児利用会員は病児施設提出用の依頼書にかかりつけ医にサインをいただき、写しを用意
- ④ 前日または当日にファミサポセンターに送迎依頼の予約連絡
- ⑤ 当日利用

※ ご不明な点についてはファミサポセンターまでお問い合わせください。



アンケートのご協力ありがとうございました！！

昨年 12 月から 1 月にかけて、ファミサポ 4 回目のアンケートを 957 名に郵送し、調査を行いました。集計結果は裏面に記載していますのでご覧ください。ここでは自由回答の中であった質問&要望についてお答えしていきますと思います。※両方会員は利用会員・援助会員としてアンケートに回答いただいています。

（質問&要望）

Q 産後、子連れでセンターに登録に出向くのは大変。自宅に来てもらえますか？
A 移動手段がない方も含め新規利用会員登録は職員が出向いて説明に伺うこともできます。登録希望の方がいらっしゃいましたらファミサポセンターまでご相談ください。

Q センター預かりは何日前までに依頼すればよいですか？
A センターでの預かりは当日の顔合わせで利用ができます。調整の都合上、利用日の 2～3 日前にご連絡いただくと助かります。（緊急の場合はこれに限りません）

Q 土日・祝日にファミサポセンターで預かってもらえますか？
A 土日・祝日はセンターが閉館しているため援助会員宅での預かりになります。顔合わせを行った援助会員には安全チェックリストに沿って部屋を整えていただき預かりに備えていただいています。

Q 引っ越しでの住所変更の手続きはどうしたら良いですか？
A 電話にて手続きができます。都城市内に転居⇒住所変更手続き、都城市外に転居⇒退会手続きとなります。（全会員対象）

アンケートの集計結果について 回答ベスト3



利用したことがある利用会員編

利用して良かったこと

- ① 仕事と子育ての両立ができた
- ② 外出（通院など）負担が減った
- ③ リフレッシュできた

利用して良かった！との声が多く聞かれました。

利用に関してわからないこと

- ① 特になし
- ② 病児・病後児援助活動について
- ③ 託児ができる場所

利用するにあたり不安に思うこと

- ① 特になし
- ② 援助会員宅での預かり
- ③ 援助会員の人柄

利用したことがない利用会員編

利用されていない理由

- ① 万が一のための登録だから
- ② 託児をしてくれる人がいるから
- ③ いつも急で依頼ができないから

不安でなかなか利用に踏み出せない・・・という声も聞かれました。

利用に関してわからないこと

- ① 特になし
- ② 実際に利用する時の手続き
- ③ 病児・病後児援助活動について

利用するにあたり不安に思うこと

- ① 特になし
- ② 援助会員の人柄
- ③ 援助会員宅での預かり

援助したことがある援助会員編

援助活動をして良かったこと

- ① 子どもが愛おしく思える
- ② 生きがいになる
- ③ 子育て支援に関する情報が得られた

援助活動でわからないことは職員に相談しているので安心との声が聞かれました。

援助活動に関してわからないこと

- ① 特になし
- ② 病児・病後児援助活動の仕方
- ③ 利用会員との連絡の取り方

援助活動に関して不安に思うこと

- ① 特になし
- ② 病児・病後児援助活動の仕方
- ③ 預かる子どものこと

援助したことがない援助会員編

援助活動に参加されない理由

- ① 働いているから
- ② 時間がないから
- ③ 連絡が来ないからきっかけがない

登録時より環境が変化した、運転に自信が無いとの声が聞かれました。

援助活動に関してわからないこと

- ① 特になし
- ② 送迎の際の車の利用（運転）
- ③ 利用会員宅での託児
チャイルドシートの着用
利用会員との連絡の取り方

援助活動に関して不安に思うこと

- ① 特になし
- ② 送迎時の車の利用（運転）
- ③ 養成講座で受講した内容を忘れた

センターの対応として必要・
対応してほしいサービス

■利用会員が対応してほしいサービス・・・「情報発信における SNS の活用」「ホームページ等でのファミサポの情報公開」「SNS を使用した電話連絡」があげられました。

■援助会員が対応してほしいサービス・・・「SNS を使用した電話連絡」「定期的な情報交換会」があげられました。

前回のアンケートの結果と比較すると、スマートフォンが普及する中、相談や連絡手段としていつでも気軽に連絡できる SNS を活用してほしいという声が増えた印象です。ファミサポセンターでも今回の集計結果をもとに、連絡手段含め実際の活動など事業内容をより良いものにしていくために、今後も利用しやすく援助しやすい体制づくりを構築していく予定です。

（都城市社会福祉協議会 HP にファミサポ Q&A 集を掲載していますので不明な点がございましたらご覧ください）

編集後記 全国的に「実動可能な援助会員が少ないこと」が課題となっているファミサポ事業。そんな中都城市ファミサポでは今年度の援助会員養成講座を無事に終了することができました。受講していただいた皆様には感謝とともに今後のご活躍に期待いたします。また援助会員向けアンケートでは、連絡がこないで活動できないというご意見もあった所ですが・・・活動可能な時間帯ができた援助会員さん、ぜひファミサポセンターまでご連絡ください！お力をお借りしたいです。是非ともよろしく願いたします。（菊永）

発行 社会福祉法人 都城市社会福祉協議会
都城市ファミリー・サポート・センター
発行日 令和5年3月27日
問合せ先 都城市松元町4-14 都城市総合福祉会館内

TEL/FAX 0986-26-3810

メールアドレス famisapo@miyakonojoshakyo.or.jp

センター開設時間 月～金 9:00～17:00

（年末年始・祝日を除く）メールアドレスが変更になりました

